

東日本大震災

岡山

薬や食料確保に苦勞

AMD A職員 被災地活動報告



岩手県大槌町での医療活動を報告する元持さん ー北区のAMD A本部で

東日本大震災の被災地を支援する国際医療救済団体「AMD A」の現地スタッフとし

に感動した」と語った。

元持さんは大槌町出身。仙台市の自宅で被災したが、知人の紹介でAMD A嘱託職員となり、仙台で3月15日から緊急医療支援活動に参加した後、19日に故郷の大槌町に入り、4月20日まで活動した。

4月以降も週末ごとに同町に入っているという元持さん。仮設住宅の建設がなかなか進まない現状がある一方、今月4日には祭りも開かれ「町の人たちに力が出てきたと実感した」という。元持さんは「私もAMD Aに感謝している。何かしたいと思っても一人だけではただ見ているだけだったと思う」と話し、「今後も地域に根を張った、長期的な支援を続けたい」と語った。

大津波の被害で変わり果てた古里を見たとき「言葉が出ないくらいショックを受けた。まったく違う場所に来たように感じた」という。避難所で被災者に対する医療活動など、小さな避難所や自宅避難している人たち

て、岩手県大槌町で活動した理学療法士、元持幸子さん(36)が9日、北区のAMD A本部で会見した。活動を振り返り「私もAMD Aに助けられた。小さな町のために全国、世

界が動いてくれること

【江見洋】